

旧) 関西大会

聖龍杯

Sent Dragons Cup

☆ ㄨ 星期天麻将競技会 ☆ ㄨ

【日時】 2019年6月15日(土) 受付10:30～ ・ 16日(日) 受付10:00～
(両日とも集まり次第開始いたします。)

【会場】 ブッキング・青葉 TEL:06-6447-0073 FAX:06-6447-0412
大阪市西区江戸堀1-4-27 ニッポウ江戸堀ビル2F
地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」B5 出口スグ

【参加費】 5,000円(昼食付)/1日分・2日共参加は8,000円 懇親会(希望者のみ)4,000円程度

【参加人数】 12卓 48名

【競技方法】 個人戦のみ 順位点 4 2 1 0 で評価

【表彰】 冠軍～季军(1～3位)

【締め切り】 2019年6月7日(金)

【申し込み・お問い合わせ】 ブッキング・青葉 FAX:06-6447-0412

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-27 ニッポウ江戸堀ビル2

E-mail: world.mahjong.union@gmail.com 担当: 向日葵教室 白石 卓嗣 090-3863-1962

郵送・FAX・E-mail・携帯のショートメールにてお申込みください。

.....
聖龍杯申し込み

所属団体(任意): _____

代表者氏名(グループで申し込みの場合): _____ TEL: _____

メンバー氏名: _____

個人参加者氏名: _____ TEL: _____

【大会日程】(両日とも集まり次第開始いたします。)

6/15(土)		6/16(日)	
受付	10:30~11:00	受付	10:00~10:30
説明	11:00~11:30	説明	10:30~11:00
1回戦	11:30~13:00 90分	1回戦	11:00~12:30 90分
	昼食		昼食
2回戦	13:30~15:00 90分	2回戦	13:00~14:30 90分
3回戦	15:10~16:40 90分	3回戦	13:00~14:30 90分
4回戦	16:50~18:10 90分	4回戦	16:20~17:50 90分
表彰式	18:30~19:00	表彰式	18:00~18:30
懇親会	19:30~21:30 (希望者のみ)		

【大会システム】

各一荘の対局時間は90分とする。(その局の終了まで行う)

有効なフーの発声又は、海底牌打牌で次局開局とする。

同時かどうか微妙の時は次局とする。

点数申告及び点棒の受け渡しミスはサイコロボタンを押す前に完了する。

サイコロボタンを押した後には訂正できない。

各一荘戦の順位により 4 2 1 0 とする。 同順位は折半
順位点の合計順に卓組する。

【表彰】

当日の冠軍・亜軍・李軍を表彰。

2日間の冠軍・亜軍・李軍を表彰。

参加人数により飛び賞を設ける。

【初心者】(中国麻雀初年度の方のみ)

国際ルール初心者の方は、点数足らずは和了放棄にせずゲーム続行。

”ツモ”、”ロン”での和了を認める。(ベテランが指導する。「フー」といい直して貰う)

和了次、牌を持ってこなかった場合も、和了を認める。(ベテランが指導する。)

【警告】(一荘内で初回はノーペナ2回目以降は和了放棄でゲーム続行。)

①ベテランは和了牌を持ってこなかった場合は警告扱い。

②発声のないチー・ポン・カン・フー。

③チー・ポン・カンで牌を持って来る前に打牌した場合も同様。

④槓して嶺上牌を持って来る前に打牌した場合も同様。

④ツモる前に打牌した場合も同様。

次の一荘では、警告状態は一度リセットされる。

【ルール・競技マナーの概要】

〔ルール〕

星期天麻将競技会は、中国国家体育協会総局 1998 年制定公式競技ルールに則り行う。

ただし、向日葵教室として以下のように定める。

- ◆花牌は使わず、136 枚の牌を使用する。
- ◆役満の重複を認める。例：字一色＋四暗刻 64 点＋64 点＝128 点等
- ◆門前役には不求人付かない。自摸の 1 点のみ付け加える。
- ◆五面齊＋七対 6 点＋24 点＝30 点を認める。
- ◆槓上開花と妙手回春は複合する。ただし自摸の 1 点は付かない。
- ◆三人打ちの場合は、東 南 西 北 返り東の $3 \times 5 = 15$ 局とする。
- ◆槓を含む手の点数について

- ①明槓 1 点 暗槓 2 点
- ②明槓＋明槓 4 点 明槓＋暗槓 5 点 暗槓＋暗槓 6 点
- ③明槓＋明槓＋明槓 32 点 明槓＋明槓＋暗槓 34 点 明槓＋暗槓＋暗槓 38 点 暗槓＋暗槓＋暗槓 48 点
- ④明槓＋明槓＋明槓＋明槓 88 点 明槓＋明槓＋明槓＋暗槓 90 点 明槓＋明槓＋暗槓＋暗槓 94 点
明槓＋暗槓＋暗槓＋暗槓 104 点 暗槓＋暗槓＋暗槓＋暗槓 152 点

◆副露の手順

以下の手順を遵守する。

- ①まず発声
- ②一呼吸おいてから、手持ちの塔子や対子、刻子を見せる。(暗槓の場合は見せない。)
- ③取牌して、3 枚なり 4 枚を手元に明示 先に打牌したら少牌のまま和了放棄 (牌は立てる)
- ④打牌 (打牌後、副露面子を確定させる)
 - ①と②の間に限り、チーの発声より、他家ポン、カンが優先する
 - (①と②の間に一呼吸おいていない場合は、常に他家ポン、カンが優先する)

◆発声について

- (1) 使用できるのは、“チー” “ポン” “カン” “フー”のみ。

*“ツモ” “ロン”の発声は使用できる用語ではないので、“フー”と言い直せば不問。
” ロンフー” ” ツモフー” を認める。

- (2) 単純な言い直しは認めない。

最初に発声したもののみを有効とする。実行できないときは和了放棄。

例) ” ポン・チー” ” ポン・フー” と同じ人が連続して発生した場合は、最初に発声した” ポン” を実行しなければならない。あとで発声した” チー” ” フー” は無効。

この時ポンが実行できなければ和了放棄。

” チー・フー” 最初に発声した” チー” を実行しなければならない。あとで発声した” フー” は無効。

この時チーが実行できなければ和了放棄。

” フー” と発声して実行できない場合も、倒牌しなければ和了放棄 倒牌してしまったらチョンボ

- (3) 自らの発声の後、他家の発声があった場合に限り、発声の言い直しを認める。

例) ” チー” と発声→他家の” ポン” の発声→” フー” への言い直しを認める。

” チー” と発声→他家の” フー” の発声→” フー” への言い直しを認める。頭ハネ

” ポン” と発声→他家の” フー” の発声→” フー” への言い直しを認める。

[罰則規定]

◆見せ牌：2枚以上見せた場合は内1枚を捨てなければならない。暗杠で1枚でも見えたら杠不成立。

◆和了放棄

以降チー、ポン、カン、フーできない。

(1) 空・誤のチー ポン カン フー発声

(2) 副露時のさらし間違い。ただし、打牌前であれば訂正できる。打牌後は取牌出来ない。少牌で続行。打牌後は訂正できず、和了放棄。その場合間違えてさらされた牌も和絶張の枚数計算の対象となる。ただし付け牌の位置のみを誤った場合は、その限りではない。

例) 三をチーしたときに、誤って三一一と晒してしまっても、打牌前であれば、三一二と訂正できる。

(3) ツモ牌を間違えた場合。

ただし、ツモった牌を手配に接触させる前であれば、間違えた牌を元に戻して正しい牌でツモり直す。

(この場合は和了放棄にならない)

*間違いに気付いたら他家は指摘する権利がある。

◆チョンボ

(1) 誤フー(ノーテン・8点未満で倒牌した場合) ⇒ 20点オールを支払い和了放棄。その局は続行。

(2) 山を崩した場合 ⇒ 20点オールを支払い、その局をやり直す。

(3) 流局時に暗槓が間違っていた場合。20点オールを支払う。

◆トラブルの裁定は、すべて審判が行う 審判員が運営上採用されていない場合は、同卓者で決定。

[その他の細則]

◆各場風ごとに席替えを行う。

◆有効なフーの発声又は、海底牌打牌で次局の開局とする。

◆和了牌を手配に付けた場合は、待ちの形による1点は付かない。

◆親を間違えた場合は、全員の配牌完了前に気付けば、正しい親がサイコロを振り直す。

配牌完了後は、その局を行う。次局は正しい親で行う。

例) 南2局で親を間違えたのが誰であっても、時局は南3局となる。

◆河底牌はチー、ポン、カン出来ない。

[マナー]

◆自動卓で牌を落とす前には必ず洗牌を行う。自動卓の開閉ボタンは次局の親が押す。

◆サイコロボタンは、山をセットし、推牌してから賽子ボタンを押す。

◆長考禁止。10秒までとする。10秒でツモ切する事。

◆副露面子は各自の手配の前に置く(推奨)。順次右に並べる。又は日本式に右端に重ねずに晒す。

◆出和了の際、和了牌を手元に持ってきてから、点数計算を始める。同卓者が注意する。

◆点数申告は「和了手役の点数」は「8点(底点)を加えた点数」と申告する。例)「8は16」

◆点数申告及び点棒の受け渡しは正しく行われなければいけない。

申告に誤りがあった場合、同卓者のみがそれを訂正できる。

◆対局中の私話、通話、メールは禁止。

◆対局が終わった卓の選手は、速やかに対局室から退出するか、終了した卓で待機しておく。観戦も禁止。

◆対局室での食事(対局時間中)喫煙 飲酒は厳禁。

◆打牌は静かに引きツモしない 取牌時にオーバーアクションしない